

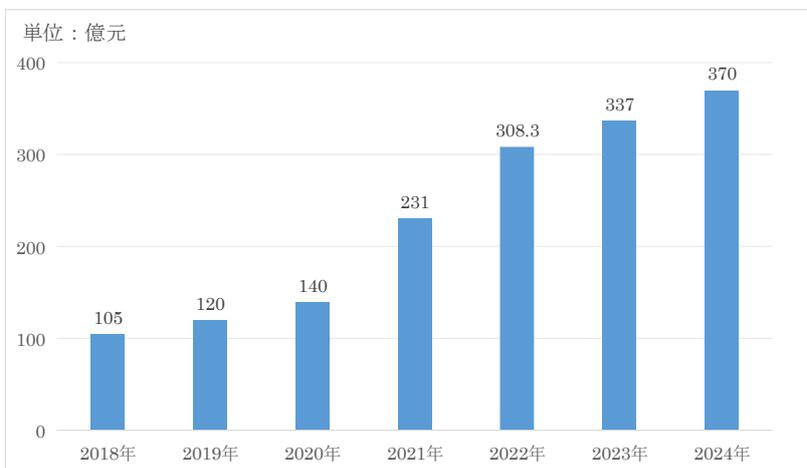
CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

2023年の中国リチウム電池用負極材料市場

1. 市場規模

新エネルギー自動車業界とリチウム電池製品などの発展に伴い、近年、中国の負極材料の市場規模は安定的に拡大している。中商産業研究院¹が発表した「2022~2027年中国リチウム電池用負極材料業界の市場見通しと将来の発展傾向報告」によると、2022年の中国リチウム電池用負極材料の市場規模は約308億3,000万元で、前年より33.46%増加した。2023年の市場規模は337億元、2024年は370億元に成長する見込みである。



出典：中商情報網 WWW.ASKCI.COM

図1 中国リチウム電池用負極材料の市場規模の推移（2018~2024年）

2. 出荷量

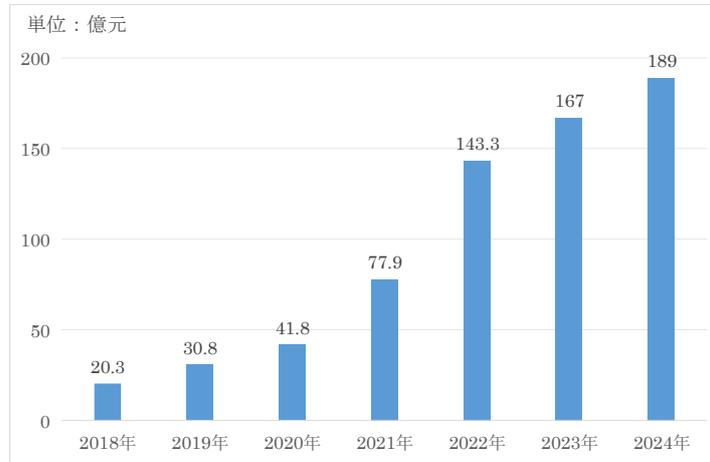
中商産業研究院が発表した「2022~2027年中国リチウム電池用負極材料業界市場の高度分析と発展傾向予測報告」によると、2022年の中国リチウム電池用負極材料の出荷量は約143.3万トンで、前年から84%増加した。

また2023年の出荷量は167万トン、2024年は189万トンになる予測である。

¹ 中商産業研究院は中商産業データテクノロジー（深セン）股份有限公司傘下の産業コンサルティング会社で、2016年に上場し、国家ハイテク企業にて認定されている。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

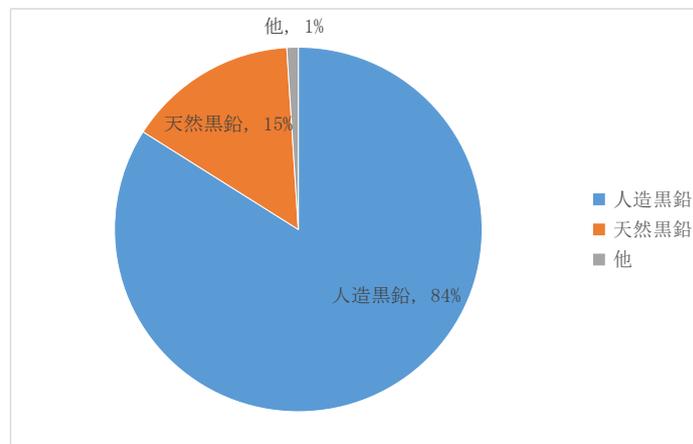


出典：中商情報網 WWW.ASKCI.COM

図2 中国リチウム電池用負極材料の出荷量の推移（2018～2024年）

3. 製品構成

中国のリチウム電池用負極材料は黒鉛が中心で、中でも人造黒鉛の割合が最も高い。2022年の負極材料の出荷量では、人造黒鉛が全体の84%、天然黒鉛が15%を占めている。



出典：中商情報網 WWW.ASKCI.COM

図3 リチウム電池用負極材料の出荷量の比率（2022年）

4. 市場シェア

中国のリチウム電池用負極材料の市場シェアは、2022年の上位6社合計で約79%だった。市場シェアで1位は深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司で、全体の26%であった。2位は上海杉杉科技有限公司（寧波杉杉股份有限公司の子会社）で16%、3位は江西紫宸科技有限公司（上海璞

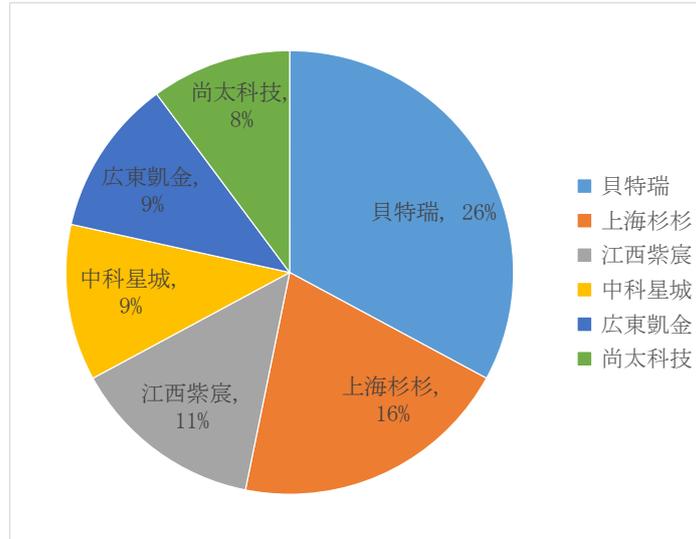
CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL: 045～717～8575 FAX: 045～717～8683

泰来新能源科技股份有限公司の子会社)で11%、次に湖南中科星城石墨有限公司(湖南中科電気股份有限公司の子会社)と広東凱金新能源科技股份有限公司でそれぞれ9%、続いて石家荘尚太科技股份有限公司が8%であった。

総じてみれば、上位三社の市場シェアが大きいですが、産業集約度がまだ低い。



出典：中商情報網 WWW.ASKCI.COM

図4 企業別リチウム電池用負極材料企業の市場シェア

5. 企業の増産計画

下流のリチウム電池業界及び新エネルギー自動車業界は急速な発展段階にあり、生産企業は負極材料の需要の高まりから相次いで生産能力の向上や生産規模の拡大を進めている。具体的には下表の通りである。

表1 負極材料企業の増産計画

企業名	増産計画 トン/年	実施状況
深圳市 貝特瑞新能源 材料股份有限 公司	120万	2022年末までの生産能力は34.8万トン(約9万トンの天然黒鉛を含む)で、2025年末までには21.6万トンの天然黒鉛と46.5万トンの人造黒鉛の生産能力が見込まれている。 ● 2022年に雲南省で年産20万トン(1期目)、山東省で年産4万トン、山西省で年産10万トンの負極材一体化プロジェクトが着工された。 ● 黒竜江省交通投資集団有限公司と年産40万トンの鱗状黒鉛及び20万トンの天然黒鉛負極材一体化プロジェクトの基本合意書を締結した。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

		<ul style="list-style-type: none">● 惠州億緯鋰能股份有限公司（EVE エナジー）と共同で四川省で年産 10 万トンの負極材一体化プロジェクトを投資、建設する予定である。● 2022 年末までの生産能力は 34.8 万トン（約 9 万トンの天然黒鉛を含む）で、2025 年末までには 21.6 万トンの天然黒鉛と 46.5 万トンの人造黒鉛の生産能力が見込まれている。
寧波 杉杉股份有限 公司	110 万	負極材生産能力は 2022 年末現在で約 20 万トンであった。負極材生産能力は 2025 年末までに約 70 万トンに達すると予想されている。 <ul style="list-style-type: none">● 四川省で 10 万トンの負極材生産能力の 1 期目事業の建設を加速している。● 雲南省で 30 万トンの負極材一体化プロジェクトの建設契約を締結し、計画では 1 期目は 20 万トン、2 期目は 10 万トンで、工期は約 16 カ月間である。
上海 璞泰来新能源 科技股份有限 公司	60 万	負極材生産能力の拡大が 2017 年から江西省、江蘇省、内モンゴル自治区などで推進され、2023 年末までに 37 万トンに達する見込みである。
広東 凱金新能源科 技股份有限公 司	80 万	負極材生産能力は 2022 年末まで約 9 万トン、黒鉛化生産能力は 10 万トンであった。 現時点で江蘇省、四川省、貴州省で負極材生産能力の建設を加速しており、2025 年末までに 59 万トンになる見込みである。
湖南 中科電気股份 有限公司	75 万	2022 年末現在の負極材生産能力は 11.7 万トンで、建設中の生産能力は 18.5 万トンであった。2024 年末までに、負極材の生産能力が 31.7 万トンになる見込みである。 <ul style="list-style-type: none">● 2021 年 10 月に惠州億緯鋰能股份有限公司（EVE エナジー）と合弁会社を設立し、雲南省で 10 万トンの負極材一体化プロジェクトを建設する。● 2022 年 2 月に寧徳時代新能源科技股份有限公司（CATL）の投資を導入し、貴州省で 10 万トンの負極材一体化プロジェクトを建設する。● 2022 年 9 月に重慶弗迪リチウム電池有限公司と協力して年産 10 万トンの負極材プロジェクトの建設を計画した。

情報源：中商産業研究院より